

第72期 報 告 書

ANNUAL REPORT

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

- 1P 株主の皆様へ
- 3P 財務の概況
- 5P 会社情報
株式の状況
- 6P Information 株主の皆様へ
株主優待制度の変更について
- 8P 進化し続けるOUGグループ 関空トレーディング株式会社
グループの加工機能会社として、
消費地加工場の存在感を発揮！



代表取締役社長

勝田 昇

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第72期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）の事業および財務の概況のご報告を申し上げます。

平成30年6月

事業の経過およびその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、景気の回復には、個人消費など一部に足踏みがみられるものの、企業収益、雇用・所得環境、生産活動、設備投資は総じて堅調であり、全体として緩やかな回復基調にありました。消費者心理は、日常品を中心に節約志向が依然として続き、回復には足踏みがみられます。

水産物流通業界におきましては、輸入水産物は調達コストが高止まりする中、国内水産物は一部魚種の不漁などもあり厳しい経営環境下にありました。

このような環境にあって、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の節減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

業績の状況につきましては、当連結会計年度の売上高は3,239億13百万円（前年同期比101.1%）となりました。損益面では、売上総利益は235億82百万円（前年同期比97.3%）となり、営業利益20億7百万円（前年同期比75.9%）、経常利益16億13百万円（前年同期比75.0%）、特別損失に、グループ統合基幹システムの開発中止に伴う無形固定資産除却損19億92百万円の計上もあり、親会社株主に帰属する当期純損失96百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益17億42百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、一部魚種の不漁はあったものの売上高2,063億5百万円（前年同期比103.1%）となり、仕入コストの上昇や運賃・保管料の増加などによる売上総利益率の低下によりセグメント利益13億7百万円（前年同期比73.8%）となりました。

<市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、輸入水産物の価格高騰、特に主力商材である海老の相場変動の影響などにより売上高1,173億51百万円(前年同期比98.2%)となり、売上高の減少によりセグメント損失49百万円(前年同期はセグメント利益4億52百万円)となりました。

<養殖事業>

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、堅調な市況が続き売上高81億21百万円(前年同期比100.2%)となり、売上総利益率の上昇によりセグメント利益5億15百万円(前年同期比253.1%)となりました。

<食品加工事業>

消費地にある食品加工センターにて水産加工、量販店向けにおにぎり等米飯加工などを行う食品加工事業は、売上高48億30百万円(前年同期比100.0%)となり、原材料価格の上昇や人件費の増加などによりセグメント損失16百万円(前年同期はセグメント損失4百万円)となりました。

<物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け、自社便にて配送を行う物流事業は、取扱数量の減少により売上高20億90百万円(前年同期比96.0%)、人件費の増加などもありセグメント損失47百万円(前年同期はセグメント損失7百万円)となりました。

<その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、売上高54億15百万円(前年同期比95.2%)、セグメント利益1億20百万円(前年同期比91.0%)となりました。

対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、国内景気は一部に足踏みがみられるものの、緩やかな回復基調にあると予測されますが、海外経済や外国為替相場の動向など先行き不透明な状況にあります。

水産物流通業界におきましては、輸入水産物については世界的な水産物需要の高まり等を背景に調達価格は高値を継続し、国内水産物についても漁獲量の減少等を背景に魚価は高値傾向で推移すると予測されます。このような状況の中、消費者の日常消費に対する節約志向は継続し、業種・業態の垣根を越えた販売競争が激化するなど厳しい経営環境下にあると予測されます。

当社グループは、コア事業である「水産物荷受事業」および「市場外水産物卸売事業」、また、コア事業を支える「養殖事業」の事業基盤の強化を図るとともに、グループ内の加工機能、物流機能を最大限活用し、グループ総合力の発揮により顧客が求める価値を提供してまいります。そのために経営基盤の強化を図り、業績の向上に努めてまいります。また、その一環として求められる情報システムのあり方や機能等について検討を進めます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

財務の概況

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当期	前期
		[平成30年3月31日現在]	[平成29年3月31日現在]
資産の部			
流動資産			
現金及び預金		2,896	2,137
受取手形及び売掛金		32,238	27,524
商品及び製品		20,546	19,575
仕掛品		0	0
原材料及び貯蔵品		362	316
未収還付法人税等		449	—
繰延税金資産		528	355
その他		543	857
貸倒引当金		△ 157	△ 133
固定資産		18,774	22,021
有形固定資産			
建物及び構築物		2,474	2,538
機械装置及び運搬具		1,036	985
工具、器具及び備品		407	411
土地		6,625	6,625
リース資産		107	228
無形固定資産			
ソフトウェア仮勘定		—	2,536
その他		239	300
投資その他の資産			
投資有価証券		6,287	7,332
関係会社株式		387	16
長期貸付金		44	56
退職給付に係る資産		235	103
破産更生債権等		353	367
繰延税金資産		63	186
その他		896	742
貸倒引当金		△ 384	△ 409
資産合計		76,181	72,656

(単位:百万円)

科目	期別	当期	前期
		[平成30年3月31日現在]	[平成29年3月31日現在]
負債の部			
流動負債			
支払手形及び買掛金		19,229	17,711
短期借入金		19,535	17,370
1年内返済予定の長期借入金		1,318	1,788
リース債務		307	287
未払法人税等		264	465
未払消費税等		181	237
賞与引当金		708	693
その他		3,494	3,027
固定負債		10,715	9,985
長期借入金		7,127	5,906
リース債務		232	530
繰延税金負債		66	52
再評価に係る繰延税金負債		283	283
退職給付に係る負債		2,415	2,579
役員退職慰労引当金		122	124
資産除去債務		167	164
その他		300	342
負債合計		55,754	51,568
純資産の部			
株主資本			
資本金		6,495	6,495
資本剰余金		6,090	6,090
利益剰余金		6,260	6,690
自己株式		△ 23	△ 88
その他の包括利益累計額		1,603	1,899
その他有価証券評価差額金		2,039	2,546
繰延ヘッジ損益		△ 11	6
土地再評価差額金		△ 356	△ 356
退職給付に係る調整累計額		△ 67	△ 297
純資産合計		20,426	21,087
負債純資産合計		76,181	72,656

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務の概況

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当期	前期
		[自平成29年4月1日 至平成30年3月31日]	[自平成28年4月1日 至平成29年3月31日]
売上高		323,913	320,401
売上原価		300,331	296,175
売上総利益		23,582	24,225
販売費及び一般管理費		21,575	21,580
営業利益		2,007	2,645
営業外収益		405	486
受取利息		1	1
受取配当金		128	124
補助金収入		58	113
受取賃貸料		41	41
その他		175	204
営業外費用		799	980
支払利息		209	227
無形固定資産償却費		543	724
その他		46	28
経常利益		1,613	2,151
特別利益		651	226
投資有価証券売却益		633	195
固定資産売却益		18	31
特別損失		1,992	67
減損損失		—	42
固定資産売却損		—	24
無形固定資産除却損		1,992	—
税金等調整前当期純利益		272	2,310
法人税、住民税及び事業税		264	925
法人税等調整額		105	△ 357
法人税等合計		369	568
当期純利益(△損失)		△ 96	1,742
親会社株主に帰属する当期純利益(△損失)		△ 96	1,742

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

当期(自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成29年4月1日残高	6,495	6,090	6,690	△ 88	19,188
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△ 333		△ 333
親会社株主に帰属する当期純損失			△ 96		△ 96
自己株式の取得				△ 3	△ 3
自己株式の処分				68	68
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△ 429	64	△ 365
平成30年3月31日残高	6,495	6,090	6,260	△ 23	18,822

	その他の包括利益累計額					純資産計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損	土地再評価益	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
平成29年4月1日残高	2,546	6	△ 356	△ 297	1,899	21,087
連結会計年度中の変動額						
剰余金の配当						△ 333
親会社株主に帰属する当期純損失						△ 96
自己株式の取得						△ 3
自己株式の処分						68
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	△ 507	△ 17	—	229	△ 296	△ 296
連結会計年度中の変動額合計	△ 507	△ 17	—	229	△ 296	△ 661
平成30年3月31日残高	2,039	△ 11	△ 356	△ 67	1,603	20,426

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当期	前期
		[自平成29年4月1日 至平成30年3月31日]	[自平成28年4月1日 至平成29年3月31日]
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,249	△ 242
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 360	△ 182
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		2,369	△ 44
IV. 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		758	△ 469
V. 現金及び現金同等物の期首残高		2,132	2,602
VI. 現金及び現金同等物の期末残高		2,891	2,132

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社情報 (平成30年3月31日現在)

OUGホールディングス株式会社

会社概要

主要な事業内容 定款に定められた事業を営むこと、ならびに定款で定められた事業を営む会社およびこれに相当する事業を営む外国会社の株式もしくは持分を保有することにより、当該会社の事業活動を支配、管理することおよびこれに関連する業務を行うことを目的としております。

設立 昭和21年6月12日(創業 昭和22年10月1日)

資本金 6,495百万円

発行済株式総数 5,562,292株

従業員数 連結 1,339名 単独 33名

役員の体制

取締役	代表取締役会長	谷川正俊
	代表取締役社長	勝田昇昇
	取締役	増田安利至
	取締役	橋爪康至
	取締役	梅島信也
監査役	常勤監査役	三浦正晴 (社外取締役)
	監査役	玉田耕也
	監査役	富田英孝 (社外監査役)
	監査役	和田徹 (社外監査役)
	監査役	伊藤博通 (社外監査役)

執行役員	常務執行役員	中江一夫
	執行役員	岡田雅之

株式の状況 (平成30年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	20,915,900株
発行済株式の総数	5,562,292株
株主数	10,690名

(注)平成29年10月1日付けで普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。これにより、発行可能株式総数は、188,243,100株減少し、20,915,900株となっております。また、発行済株式の総数は、50,060,629株減少し、5,562,292株となっております。

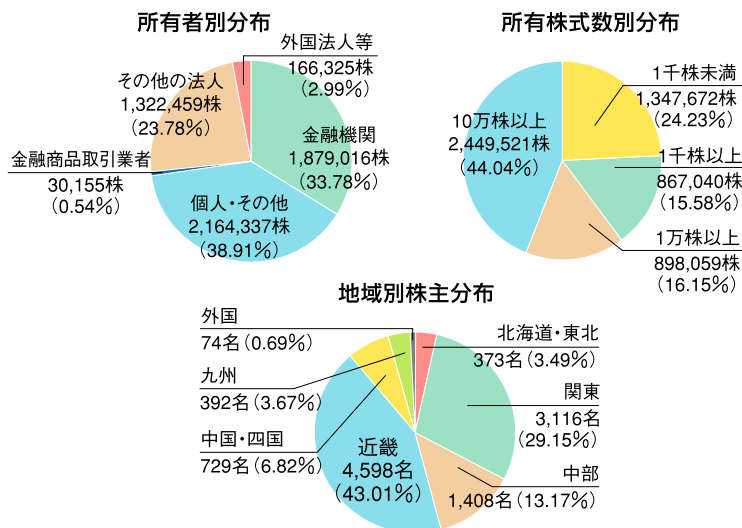
大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
マルハニチロ株式会社	745	13.42
日本生命保険相互会社	265	4.77
農林中央金庫	263	4.75
株式会社りそな銀行	184	3.32
株式会社みずほ銀行	175	3.15
三菱UFJ信託銀行株式会社	151	2.74
OUGグループ従業員持株会	119	2.15
株式会社三菱東京UFJ銀行	115	2.07
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社 大丸松坂屋百貨店退職給付信託口)	115	2.07
丸大食品 株式会社	115	2.07

(注)1.持株比率は、自己株式(10,531株)を控除して計算しております。

2.株式会社三菱東京UFJ銀行は、平成30年4月1日付けで株式会社三菱UFJ銀行に商号変更しております。

株式分布



株主優待制度の変更について

株主優待制度につきまして、2018年(平成30年)2月8日公表のとおり、下記の内容に変更いたしました。

今後とも、ご愛顧を賜わりますようお願い申し上げます。

1. 株主優待制度変更の理由

当社は、株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに、当社株式の投資魅力を高め、中長期的に保有していただける株主様の増加を図ることを目的に「株主優待制度」を実施しております。

このたび、2017年(平成29年)10月1日付で実施した単元株式数の変更(1,000株を100株に変更)および株式併合(10株を1株に併合)に伴い、保有株式数の基準単位を変更いたしました。

また、より多くの株主様に中長期的に当社株式を保有していただくことを目的として、贈呈基準について、従来の保有株式数別の基準に新たに継続保有期間別の基準を加えるなど、「株主優待制度」の内容を変更いたしました。

2. 変更後の内容

贈呈基準	保有株式数別および継続保有期間別(3年以上・3年未満)の基準で贈呈
対象株主	1単元(100株)以上の株主様
実施時期	継続保有期間の起算日は2018年9月30日とし、現行制度からの変更にあたり、3年間の猶予期間を設け、2021年9月30日(基準日)から下記の内容で実施いたします。なお、猶予期間中においては、経過措置として現行制度と同等の内容で実施いたします。(右記「3. 経過措置の内容」をご参照ください。)

基準日 2021年9月30日以降の毎年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主様

贈呈時期 毎年12月初旬に贈呈

(2021年9月30日（基準日）以降の優待内容)

保有株式数	継続保有期間	優待内容
100株以上500株未満	3年未満	2,000円相当の水産加工物(当社指定品)贈呈
	3年以上*	4,000円相当の水産加工物(数品目から1品選択)贈呈
500株以上	3年未満	4,000円相当の水産加工物(当社指定品)贈呈
	3年以上*	8,000円相当の水産加工物(数品目から1品選択)贈呈

*「継続保有期間3年以上」とは、毎年9月30日および3月31日において、同一株主番号で連続して7回以上、株主名簿に記載または記録されていることといたします。

3. 経過措置の内容

猶予期間中の優待内容については、下記のとおり実施いたします。

贈呈基準 保有株式数別の基準で贈呈

対象株主 1単元（100株）以上の株主様

基準日 2018年9月30日、2019年9月30日、2020年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主様

贈呈時期 基準日と同年の12月初旬に贈呈

保有株式数	優待内容
100株以上500株未満	3,500円相当の水産加工物(数品目から1品選択)贈呈
500株以上	7,000円相当の水産加工物(数品目から1品選択)贈呈

グループの加工機能会社として、消費地加工場の存在感を発揮！



OUG加工センター

関空トレーディング株式会社は、関西国際空港に隣接するりんくうタウン(大阪府泉佐野市)で消費地加工場として、OUG加工センターを運営し、サーモンを主体とした国内外の生鮮魚、冷凍魚の加工を行っております。

同社は、消費者が求める食品の安全性や高鮮度志向に応えるため、アトランティックサーモンフィレ加工、トラウトサーモンフィレ加工において、大日本水産会認証の国際食品衛生安全基準HACCPを取得し、徹底した品質管理のもと、安全・安心で高鮮度な製品をお客様に提供しております。

また、同社は、お客様の嗜好にあったコスト競争力のある冷凍の定塩鮭加工を行っております。

今後とも同社は、お客様のニーズにあった付加価値の高い製品づくりに取り組み、グループの加工機能会社として消費地加工場の存在感を発揮してまいります。

サーモンの加工作業



【会社概要】

関空トレーディング株式会社
 代表取締役社長 田村 清一
 住 所：大阪府泉佐野市りんくう
 往来北2番地6
 設 立：平成7年11月7日
 資本金：20百万円
 従業員：27名
 売上高：22億71百万円
 (平成30年3月期)

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株 (株式併合の効力発生日(平成29年10月1日)をもって、 単元株式数は、1,000株から100株に変更しております。)

株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
---------------------	---------------

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更等の各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続き用紙のご請求につきましては、三菱UFJ信託銀行(特別口座管理機関)の上記連絡先お電話(受付時間:土日・祝祭日等を除く平日9:00~17:00)およびインターネット(24時間)でも承っております。
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部 (証券コード 8041)
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載の当社ホームページアドレス http://www.oug.co.jp

免責条項

本報告書に掲載している将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要因の変化により、異なる場合があることをご承知おください。

Web Information

当社ホームページでは、当社の最新ニュースを株主・投資家の皆様に向け、発信しております。IRニュースや決算発表のページ、動画によるグループ各社の紹介、株主優待制度の変更ページなど様々な情報を掲載しておりますので、ぜひご利用ください。

TOP
PAGE



<http://www.oug.co.jp>

OUGホールディングス株式会社

〒553-0005 大阪市福島区野田2丁目13番5号
うおいちニッセイビル5階
TEL:06-4804-3031 FAX:06-4804-3145
URL <http://www.oug.co.jp>

COMPANY PROFILE



GROUP について

グループ会社について
動画等で紹介しております。

